

# 「未来の東京」戦略（案）

令和3（2021）年2月  
東京都

～渋沢・後藤の精神を受け継ぎ、新たな地平を切り拓く～

# 「未来の東京」戦略 目次

## 01 危機を乗り越え、「未来の東京」を切り拓く

●大きな危機を乗り越え 人類、そして豊かな地球を未来へ.....	6	●策定の道のり～「未来の東京」を描く～.....	18
●未来の東京を創り上げるために..... ・50年、100年先も豊かさにあふれる 持続可能な都市をつくる ・「爆速」デジタル化で世界からの遅れを乗り越え、 国際競争に打ち勝つ ・「新しいつながり」を紡ぎ、 安全安心な「新しい暮らし」を追求する	12	●新型コロナを踏まえて戦略をバージョンアップ..... ●「『未来の東京』戦略」を展開するスタンス..... ●「『未来の東京』戦略」を貫く基本戦略..... ●我々が目指す未来の姿..... ●未来の東京の実現に向けた 「ビジョン」と「戦略」..... ●「未来の東京」の創出をリードする 主要プロジェクト.....	19 20 22 24 26 29

## 02 我々が目指す2040年代の20の「ビジョン」

### 人が輝く東京

ビジョン01	子供 (Children) .....	50
ビジョン02	教育.....	52
ビジョン03	女性活躍.....	54
ビジョン04	長寿 (Chōju) .....	56
ビジョン05	働き方.....	58
ビジョン06	多様性.....	60
ビジョン07	コミュニティ (Community) ..	62

### 安全安心な東京

ビジョン08	防災.....	64
ビジョン09	暮らしの安心.....	66
ビジョン10	まちづくり.....	68
ビジョン11	交通ネットワーク.....	74

### 世界をリードする東京

ビジョン12	スマート東京.....	76
ビジョン13	ビジネス・研究開発.....	80
ビジョン14	スタートアップ.....	82
ビジョン15	産業.....	84

### 美しい東京

ビジョン16	水と緑.....	86
ビジョン17	環境都市.....	90

### 楽しい東京

ビジョン18	文化・エンターテインメント.....	92
ビジョン19	スポーツ.....	94

### オールジャパンで進む東京

ビジョン20	全国連携.....	96
--------	-----------	----

### 都庁自らも変貌を遂げる

## 03

### 2030年に向けた20+1の「戦略」と122の「推進プロジェクト」

戦略 0	感染症に打ち克つ戦略	104
戦略 1	子供の笑顔のための戦略	116
戦略 2	子供の「伸びる・育つ」応援戦略	126
戦略 3	女性の活躍推進戦略	134
戦略 4	長寿（Chōju）社会実現戦略	140
戦略 5	誰もが輝く働き方実現戦略	146
戦略 6	ダイバーシティ・共生社会戦略	154
戦略 7	「住まい」と「地域」を大切にする戦略	162
戦略 8	安全・安心なまちづくり戦略	172
戦略 9	都市の機能をさらに高める戦略	200
戦略10	スマート東京 ・TOKYO Data Highway戦略	226
戦略11	スタートアップ都市・東京戦略	234
戦略12	稼ぐ東京・イノベーション戦略	240
戦略13	水と緑溢れる東京戦略	256
戦略14	ゼロエミッショント東京戦略	264
戦略15	文化・エンターテインメント都市戦略	272
戦略16	スポーツフィールド東京戦略	286
戦略17	多摩・島しょ振興戦略	292
戦略18	オールジャパン連携戦略	312
戦略19	オリンピック・パラリンピックレガシー戦略	
戦略20	都政の構造改革戦略	316
		332

## 04

### みんなでつくる「未来の東京」

●区市町村や地域とともに 「未来の東京」を築き上げる	340
●様々な主体と連携する	342
●S D G sの目線で政策を展開する	344
●「『未来の東京』戦略」の実効性を高め、 都民のQ O L向上につなげる	354
●「未来の東京」を考える授業の実施	356
●都民意見We bアンケート	358
●様々な方との意見交換	362
●（参考）「『未来の東京』戦略ビジョン」 策定（令和元年12月）までの取組	363
●付録資料	364

（注）本文中、「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」は、特段の理由がある場合を除き「新型コロナ」と記載しています。

# 策定の道のり～「未来の東京」を描く～

- 論点整理と意見募集を経て、「『未来の東京』戦略ビジョン」を策定
- 新型コロナとの闘いを通じて浮き彫りとなった課題を踏まえ、構造改革を梃子として、戦略ビジョンをバージョンアップし、「『未来の東京』戦略」として結実

## 「未来の東京」戦略

### 「未来の東京」戦略ビジョン（令和元年12月）

「論点整理」や都民意見大募集等で頂いた御意見を踏まえ、2040年代に目指す東京の姿「ビジョン」と、その実現のために2030年に向けて取り組むべき「戦略」を提示



### 「未来の東京」戦略ビジョン

令和元（2019）年12月  
東京都



### 「未来の東京」への論点 ～今、なすべき未来への投資とは～（令和元年8月）

我が国に起こりつつある変化、変革の様相を示し、活力ある東京を創り上げるために我々は何をなすべきか、幅広い方から御意見を伺い、議論すべき論点を整理



### 「未来の東京」を見据えた 都政の新たな展開について ～構造改革を梃子として～（令和2年8月）

新型コロナで浮き彫りとなった課題を踏まえ、戦略ビジョンをバージョンアップし、「『未来の東京』戦略」に結実させるための方向性を整理

# 未来の東京の実現に向けた「ビジョン」と「戦略」

- 「人が輝く」を中心<sup>に</sup>、「安全安心」「世界をリードする」「美しい」「楽しい」「オールジャパンで進む」東京をベースとして、目指す2040年代の東京の姿である「ビジョン」を提示する。
- この「ビジョン」を実現する2030年に向けた「戦略」と戦略実行のための「推進プロジェクト」によって、「3つのシティ」が進化し、「成長」と「成熟」が両立した未来の東京を実現していく。



※ 「未来の東京」戦略は、新たな都政の羅針盤として策定する都の総合計画であり、「まち・ひと・しごと創生法」（平成26年法律第136号）第9条第1項にいう「都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付ける。本戦略に記載する政策目標については、同戦略上の重要業績評価指標（KPI）として位置付ける。

# 我々が目指す2040年代の20の「ビジョン」

おおむね四半世紀先である2040年代を念頭に、我々が目指す「未来の東京」の姿を提示



- 01 子供の笑顔と子供を産み育てたい人で溢れ、家族の絆と社会が支える東京
- 02 新たな教育モデルにより、すべての子供・若者が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ東京
- 03 女性が自らの希望に応じた生き方を選択し、自分らしく輝いている東京
- 04 高齢者が人生100年時代に元気に活躍し、心豊かに暮らす東京
- 05 誰もが自分らしくポジティブに働き、活躍できる東京
- 06 様々な人が共に暮らし、多様性に富んだ東京
- 07 誰もが集い、支え合う居場所・コミュニティが地域の至る所に存在する東京
- 08 災害の脅威から都民を守る強靭で美しい東京
- 09 犯罪、事故、火災への対処、病気への備えなど、暮らしの安心が守られた東京
- 10 高度な都市機能と自然が調和し、人が集い、憩う東京

- 11 最高の交通ネットワークが構築された便利で快適な東京
- 12 デジタルの力で東京のポテンシャルを引き出し、都民が質の高い生活を送る「スマート東京」(東京版Society 5.0)
- 13 世界中からヒト・モノ・カネ・情報が集まる、世界一オープンな東京
- 14 次々と新しい産業が生まれる、世界一のスタートアップ都市・東京
- 15 世界一の高い生産性を実現した、世界経済を牽引する東京
- 16 水と緑を一層豊かにし、ゆとりと潤いのある東京
- 17 ゼロエミッション東京
- 18 文化やエンターテインメントで世界を惹きつける東京
- 19 スポーツが日常に溶け込んでいる、スポーツフィールド・東京
- 20 全国各地との連携を深め、真の共存共栄を実現した東京



# 2030年に向けた「戦略」と「推進プロジェクト」

## 20+ 1の「戦略」

「ビジョン」の実現に向け、2030年に向けて取り組むべき20+ 1の戦略を提示

### 戦略0 感染症に打ち克つ戦略

戦略1 子供の笑顔のための戦略

戦略2 子供の「伸びる・育つ」応援戦略

戦略3 女性の活躍推進戦略

戦略4 長寿（Chōju）社会実現戦略

戦略5 誰もが輝く働き方実現戦略

戦略6 ダイバーシティ・共生社会戦略

戦略7 「住まい」と「地域」を大切にする戦略

戦略8 安全・安心なまちづくり戦略

戦略9 都市の機能をさらに高める戦略

戦略10 スマート東京・TOKYO Data Highway戦略

戦略11 スタートアップ都市・東京戦略

戦略12 稼ぐ東京・イノベーション戦略

戦略13 水と緑溢れる東京戦略

戦略14 ゼロエミッショント東京戦略

戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略

戦略16 スポーツフィールド東京戦略

戦略17 多摩・島しょ振興戦略

戦略18 オールジャパン連携戦略

戦略19 オリンピック・パラリンピックレガシー戦略

戦略20 都政の構造改革戦略

- 未来の東京を切り拓くために、新型コロナに打ち克つ取組を戦略0に位置付ける
- 政策面からの視点である3C (Community、Children、Chōju) を、戦略の核に据える

## 122の「推進プロジェクト」

- 戦略ビジョンに盛り込んだ戦略実行のための「推進プロジェクト」をもとに、新型コロナの影響を踏まえて、全体を再構築し、122の「推進プロジェクト」として整理している。  
※必要に応じて組織横断的な推進チームを設置し、取組の具体化を図る。
- 「推進プロジェクト」ごとに、取組内容やスキームをビジュアルで分かりやすく示すとともに、具体的な施策である「3か年のアクションプラン」と2030年への展開を示している。
- 「推進プロジェクト」ごとに、SDGsの17のゴールとの関係を明らかにしている。

# 02 我々が目指す2040年代の20の「ビジョン」

## 20の「ビジョン」

- 「人が輝く」を中心に、「安全安心」「世界をリードする」「美しい」「楽しい」「オールジャパンで進む」東京をつくり上げていくため、我々が目指す2040年代の東京の姿として、20の「ビジョン」を提示している。



## ビジョン04 長寿 (Chōju)

### 高齢者が人生100年時代に元気に活躍し、心豊かに暮らす東京

#### 目指す2040年代の東京の姿

- 「Chōju」が世界共通語になっている
- 平均寿命・健康寿命がともに90歳を超える
- 100歳まで元気に暮らす「健康長寿社会・東京モデル」が、21世紀成熟都市の理想像として世界の模範となっている
- 高齢者が自らの希望に応じて働き続けている。また、元気高齢者がまちに出て、地域社会の担い手として、活躍。「〇歳からは高齢者」といった一律的な高齢者像は過去のものに
- 介護が必要になっても、自らの希望や意思に基づいて生活する場所を選択することができている。その家族も介護と仕事を両立でき、「介護離職」が死語になっている
- 認知症との共生の実現とともに、認知症の予防策が開発され、普及している

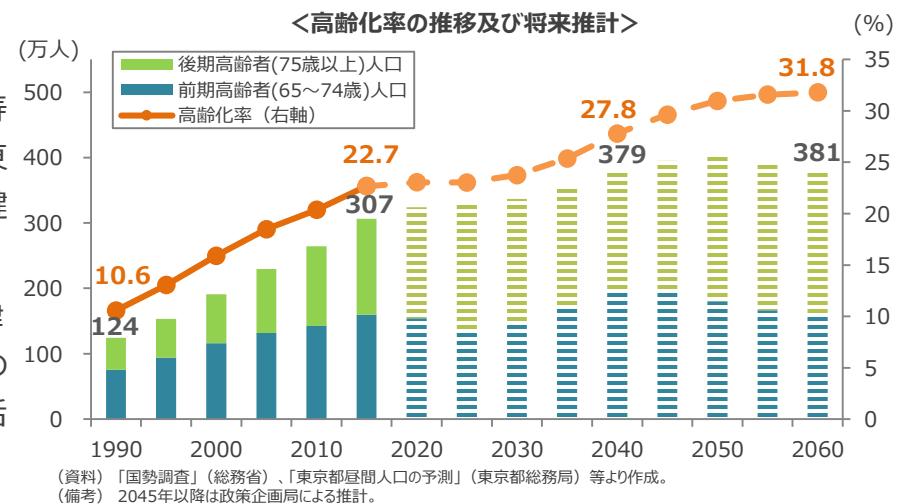


## (「超超高齢社会」を迎える東京)

- 医療技術の発達等により平均寿命が大きく伸びた「超高齢社会」が到来し、東京は世界の主要都市の中で最も長寿を誇る都市となっている。今後更に高齢化が進んだ「超超高齢社会」では、介護・医療に係る施設や人材の不足、社会保障費の増大、一人暮らし高齢者の増加といった、様々な課題があり、適切に対処していく必要がある。

## (人生100年時代を幸せに生きる高齢者像へ)

- 一方で「喜寿」、「米寿」などの言葉にも表されるように、長寿は本来、本人や家族、地域社会にとって喜ばしいことである。東京に暮らす3人に1人が高齢者となる将来を見据え、高齢者が健やかに暮らしている社会をつくり上げていく必要がある。
- 人生100年時代を迎える、「〇歳以上が高齢者」という従来の一律的な高齢者像は過去のものとなっている。元気な高齢者が自らの希望に応じて働き、地域活動を支える存在となるなど、経験を活かしながら、いつまでも活躍できる環境を整えていく。
- デジタル技術を駆使し、高齢者が健康な状態をより長く維持できる対策を講じるとともに、高齢者一人ひとりにきめ細かく目を配り、認知症など介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で快適で心豊かに暮らせるまちづくりを進めていく。また、その家族が介護と仕事を両立できる環境を整備していく。全ての高齢者がデジタル化のメリットを享受し、QOLの向上ができるよう、きめ細かいデジタルデバイド対策も進めていく。



## (健康長寿社会・東京モデルを実現する)

- こうした高齢者が輝く「健康長寿社会・東京モデル」をつくり上げることで、東京は、今後高齢化が予測される世界の諸都市の模範となり、「Chōju」は世界の共通語となる。
- 2025年には、全ての団塊の世代が75歳を迎えることとなり、2040年には、団塊ジュニア世代が65歳以上となる。持てる資源や政策を総動員して、様々な主体と連携しながら、高齢者が元気に活躍し、心豊かに暮らせる東京を実現していく。

# 03

## 2030年に向けた20+1の「戦略」と 122の「推進プロジェクト」

### 20+1の「戦略」

- 我々が目指す2040年代の東京の姿「ビジョン」の実現に向け、2030年に向けて取り組むべき戦略を提示している。
- 未来の東京を実現するためにも、人類が直面する大きな危機である新型コロナウイルス感染症に打ち克つ取組を戦略0に位置付けている。

### 122の「推進プロジェクト」

- 「戦略」を実行するために、122の「推進プロジェクト」を提示している。
- 「推進プロジェクト」ごとに、取組内容やスケジュームをビジュアルで分かりやすく示すとともに、具体的な施策である「3か年のアクションプラン」と2030年への展開を示している。
- 「推進プロジェクト」ごとに、SDGsの17のゴールとの関係を明らかにしている。

# 戦略4 長寿（Chōju）社会実現戦略

高齢者が人生100年時代に元気に活躍し、心豊かに暮らす



人生100年時代において、「高齢者」の概念を大きく変え、いくつになっても元気で心豊かに暮らせる地域づくりを進めるとともに、一人ひとりの希望に応じて地域や社会で活躍できる環境を整え、さらには「共生」と「予防」の両面から認知症施策を進めることで、世界に誇る「長寿社会」を実現する。

## 1 高齢者が元気に暮らし、活躍できる地域づくりを進める

- 住み慣れた地域で、いつまでも元気で心豊かに、自分らしく生きられるよう、地域包括ケアの実現に向けた地域のまちづくりを強力にサポートする。
- 産官学民の協働やA I・I o T等の先端技術の活用などにより、リアルとバーチャルをハイブリッドした交流やオンラインによる見守り等、新しい日常に対応した、高齢者の暮らしのサポートを推進する。
- 全ての高齢者がデジタル化のメリットを享受し、Q O Lの向上を図ることができる環境を整備する。

## 2 一人ひとりの「働く」「学ぶ」「地域活動」を応援する

- 従来の高齢者像の枠を超えて、元気で楽しいシニア期を過ごせるよう、企業等で「働く」、新たなチャレンジに向けて「学ぶ」、地域の一員として「活動する」ことを、様々な主体と連携して、力強く応援する。

## 3 認知症に向き合い、「共生」と「予防」両面の対策を進める

- 家族も含め、尊厳と希望を持ちながら、認知症と共生していくことができる環境を整えるとともに、A I等を駆使し認知症予防に向けた研究を強力に推進する。

## 2030年に向けた政策目標

### ①“Chōju”プロジェクトを都内全域に展開



#### 1. 自分らしく暮らせる“Chōju”東京プロジェクト

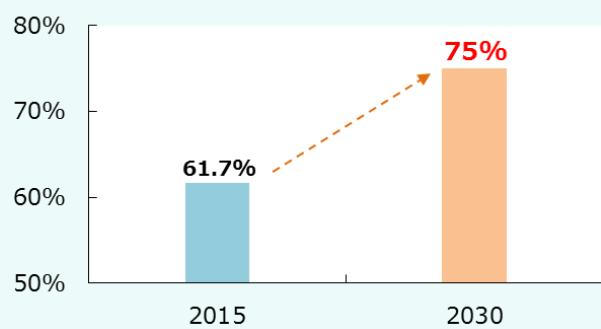
#### ②高齢者と行政をデジタルでつなぐ

高齢者の80%が、デジタルを活用して行政サービスを利用 (2030年)

#### 1. 自分らしく暮らせる“Chōju”東京プロジェクト

### ⑤社会的な活動を行う高齢者を増やす

社会的な活動（就業・学習・地域活動等）を行う高齢者の割合を75%に向上 (2030年)



#### 3. シニアライフを輝かせるプロジェクト

### ③介護サービス基盤を整備

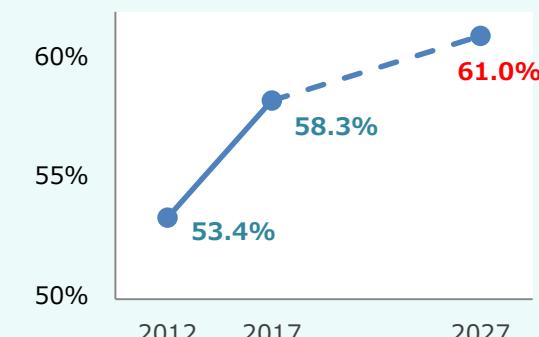
#### 高齢者の生活を支える施設を整備

	(2019年度)	(2030年度)
特別養護老人ホーム	50,506人分	64,000人分
介護老人保健施設	21,829人分	30,000人分
認知症高齢者グループホーム	11,369人分	20,000人分

#### 1. 自分らしく暮らせる“Chōju”東京プロジェクト

### ⑥高齢者の有業率\*を向上

高齢者（60～69歳） 61.0% (2027年)



\*「有業率」は、総務省統計局「就業構造基本調査」による

#### 3. シニアライフを輝かせるプロジェクト

### ④健康寿命を延伸

#### 都民の健康寿命を男女ともに延伸

##### 都民の健康寿命

	(2018年) *	(2030年)
男性	82.82歳	延伸
女性	85.92歳	

\* 65歳健康寿命（要介護2以上）

- 1. 自分らしく暮らせる“Chōju”東京プロジェクト
- 3. シニアライフを輝かせるプロジェクト

### ⑦認知症サポーターの活動を促進

認知症サポーターが地域で活動するための仕組みを全区市町村で創出 (2025年)

#### 4. 認知症との共生・予防推進プロジェクト

### ⑧新たな認知症予防の取組を普及

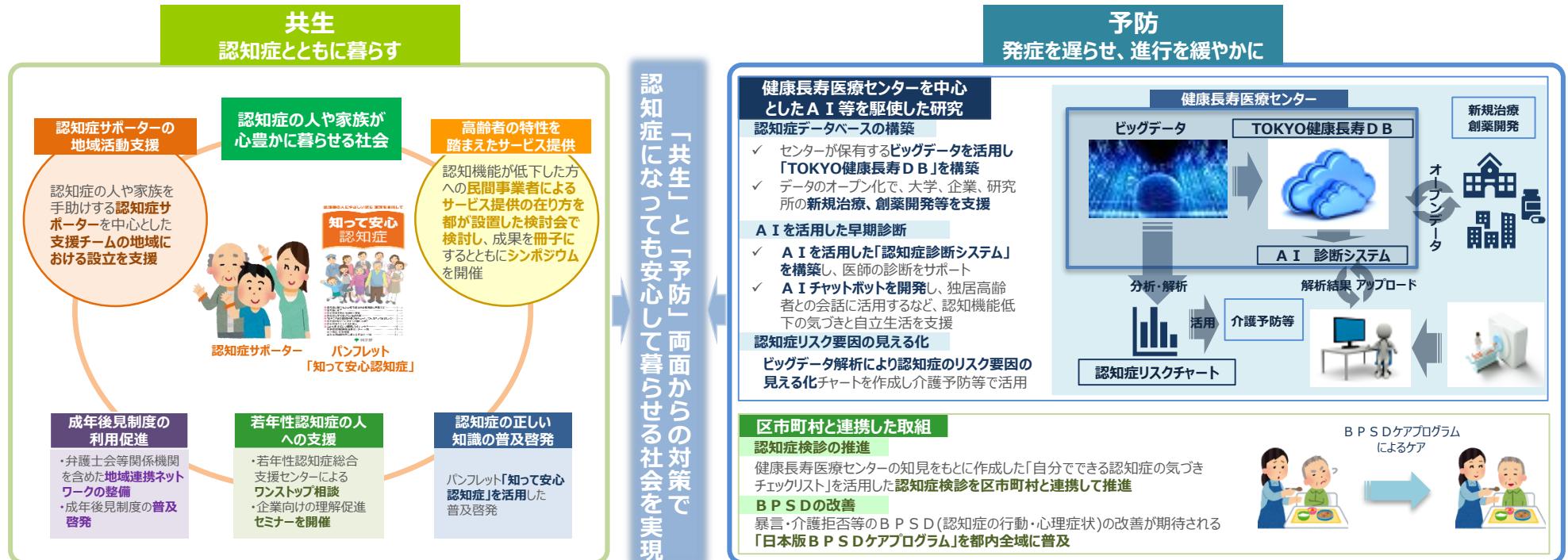
健康長寿医療センターが保有するビッグデータを活用した新たな認知症予防の取組が普及 (2030年)

#### 4. 認知症との共生・予防推進プロジェクト



## 4. 認知症との共生・予防推進プロジェクト

- 認知症になっても尊厳を保ちながら、心豊かに暮らせる地域を作るための取組を推進するとともに、東京都健康長寿医療センターがこれまで蓄積した膨大な臨床・研究に係るビッグデータを活用して、AI等を駆使した新たな認知症予防の取組を推進



### 3か年のアクションプラン（主要）

具体的な取組	2020年度末 (見込み)	年次計画		
		2021年度	2022年度	2023年度
認知症サポーター活動支援	サポーターを中心とした支援チームの運営支援等を行うコーディネーターを養成する研修の実施			
TOKYO健康長寿DB構築	設計	設計・開発	モデル運用	本格運用開始
A I 診断システムの構築	システム基盤開発	A I 脳疾患スクリーニング診断の開発	A I 認知症鑑別診断の開発	A I 診断システムの完成

### 2030年への展開

- 健康長寿医療センターが保有するビッグデータを活用した新たな認知症予防の取組を普及【2030年】
- 都内全域に「日本版BPSDケアプログラム」を普及【2025年度】
- 成年後見制度推進機関を全区市町村に整備【2030年】
- 若年性認知症の人への支援を継続
- 高齢者の特性を踏まえたサービス提供を普及